

令和7年度 生活支援コーディネーター活動報告

生活支援コーディネーター	担当圏域
千寿の里西小田 浅川信之	瑞浪地区、明世地区
美濃陶生苑 片桐千絵	土岐地区、釜戸大湫地区、日吉地区
瑞浪市社会福祉協議会 岩島、足立	陶地区、稲津地区

各地域の状況及びニーズの把握、ネットワーク構築、研修など	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各ふれあいいいききサロンへの訪問、民生委員・児童委員協議会定例会等への参加、認知症カフェへの参加等を通じて地域の状況及びニーズの把握に努めた。 ・通いの場ガイドブックの更新作業を行った。 ・概ね月1回開催の生活支援コーディネーター会議を通じて、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、市高齢福祉課が情報共有を行った。また、視察や研修について検討を行った。
課題及び今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいいいききサロン等集いの場は現状把握にとどまっている。今後も継続して把握していくとともに、集いの場が無理なく継続して開催できるような取り組みを集いの場参加者と一緒に考えたい。 ・介護予防や地域づくりに関心の高い人とつながり、支え合いの地域づくりの協力者として共に取り組みを進める。 ・生活支援コーディネーター会議を継続して開催し、関係者の情報共有を行うとともに、地域の実情に合わせて、地域住民が支え合いの地域づくりに主体的に参加できるような事業の方向性について、検討を続けていく。関係者が共通の認識を持って事業推進を行えるよう、スキルアップの研修も参加出来ると良い。

支え合いのススメ懇談会	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体設置に向けた取り組みとして懇談会を4回開催した。 ・第1回目は5月26日に開催し、協議体についての理解を深めるための説明を行った。テーマは指定せずグループワークを実施し、情報共有などを行った。 ・第2回目は9月29日に開催し、新たな試みとして協議体についての動画を視聴し、グループワークでは地域の状況についての話し合いを行った。 ・第3回目は12月22日に開催し、地域の繋がりについての動画視聴と「私の地域の助け合い名人」というテーマでグループワークを行った。 ・第4回目は2月27日に開催し、今年度の懇談会の振り返りを行った。
課題及び今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より第2層協議体として懇談会を開催しているが、地域の方々のペースを尊重しながら進めること、そして協議体の目的や役割について丁寧に理解を深めていただくことが、引き続き重要な課題である。 ・結果を急ぐのではなく、懇談会を継続して開催し、対話を重ねることで理解と関心を広げていきたい。その積み重ねが、各地域の実情に合った協議体の設置につながるものと考えている。

周知活動	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・11月23日開催の健康まつりで、支え合い活動の周知を目的とした催しを開催した。 ・支え合い活動の必要性を周知する展示と、支え合いのススメ懇談会で出た意見を元に作成した見守りチェックリストを掲示した。 ・仮想人物『瑞田 浪子さん』に対し【あなたなら何ができますか】と問いかけをし、参加者に「自分ができること」を付箋に書き出していただき、掲示し、見える化を図った。参加者へ、見守りチェックリストを啓発品とともに配布した。参加者が支え合うことをより身近に感じていただける内容になった。 ・地域支え合い活動とその必要性を多くの市民に周知したいと考えている。参加者が他人事ではない、自分事と感じていただけることを期待している。
課題及び今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合い活動の活性化のため、多くの方にこの活動が気軽に身近なものと感じていただけるよう、継続して啓発活動に努める必要がある。 ・これまでの周知活動について検証し、効果的な周知方法を検討し次年度計画を作成したい。